

森や木について知ろう

～三重県産の木を使って椅子を作ろう～（上野小学校）

～三重県産の木を使って小箱を作ろう～（宮山小学校）

12

伊勢市立上野小学校・伊勢市立宮山小学校

【上野小学校】



年輪を見る子どもたちの様子



椅子を組み立てている様子



電熱ペンを使って字や絵をかく様子

【宮山小学校】



全体の様子



森のせんせいによる木や森の話



小箱を組み立てている様子

ねらい

- ・ 森林や木、木材について楽しく学びながら興味をもち、理解を深める
- ・ 伊勢の自然の良さ・豊かさに気づく
- ・ 木工体験を通して生命や自然を大切に作る心や他を思いやる優しさを育む

取組内容

森のせんせいから伊勢地域を中心とした木や森に関する講話を聞いた後、三重県産のスギやヒノキを使って木工体験を行いました。

講話では、木や森を育てることについて話があり、実際の木を触ったり香りをかいだり、森で使用する安全靴を履いたりして体全体で自然を感じることができました。

三重県産のスギ材を使った椅子作り（上野小学校）・ヒノキ材を使った小箱作り（宮山小学校）では、自分で釘を打って組み立て、電熱ペンを使用して完成した作品に字や絵をかいてオリジナルの椅子・小箱を作ることができました。

内容	・ 森林と木の講話 ・ 三重県産材を使った木工体験
時間	3 時間（総合的な学習の時間）
場所	体育館
対象	上野小学校：4～6 年生 30 人 宮山小学校：5 年生 46 人
講師	森のせんせい：森下ゆう子氏 森のせんせい：（株）貫じん堂
備考	伊勢市教育委員会事業「豊かな心を育む体験交流活動推進事業」の「きらり自然体験活動推進事業」

【先生のコメント】 自分たちの周りにある森が手入れをされていることで保たれていることに驚いていました。木を使う体験で、作る楽しさと木への愛着を持つことができました。また、森林、林業について考える良い機会となりました。（上野小学校）

実際に木を見たり、木の感触を感じたりすることができるため、児童も意欲を持ち、楽しんで学習に取り組んでいました。森林や、林業に興味を持つきっかけとなる活動になりました。来年度以降も実施していきたいです。（宮山小学校）